

タウンミーティング（小松校区（地区）） 開催報告

- テ ー マ 「子育てしやすいまちづくり」
- 日 時 平成 30 年 2 月 20 日（火） 19 時から 20 時 30 分まで
- 場 所 小松公民館 大会議室

- 参加団体 連合自治会小松支部 支部長（東常盤自治会）・副支部長（旧藩自治会）・理事（岡村自治会、新屋敷自治会、一本松自治会、北川自治会）、小松小学校 PTA、小松中学校 PTA、小松小学校 PTA おやじ部、小松中学校 PTA おやじ部、小松地区愛護班連絡協議会、小松地区婦人会、消防団小松分団

市長 経営戦略部長、危機管理監、企画情報部長、市民協働推進課長、保健福祉部長、建設部長、小松総合支所長、教育委員会管理部長（代理：副部長兼社会教育課長）、教育委員会指導部長部長（代理：学校教育課長）

- 傍 聴 者 5 人

- 次 第 1 開会
- 2 挨拶（西条地区連合自治小松支部長）
- 3 挨拶（市長）
- 4 参加者自己紹介
- 5 意見交換「子育てしやすいまちづくり」
- 6 閉会

- 開催前話し合いでの課題や意見
 - ・安全な通学路の確保
 - ・子育てをとおしたコミュニケーション
 - ・地域自治のあり方

○会 議 録

1 挨拶

【支部長】

こんばんは。本日は夜分にもかかわらず自治会、各種団体、市長にも参加いただきありがとうございます。

タウンミーティングは玉井市長になって始まった制度で、目的は地域住民と市が協働して、テーマを選んで地域課題を地域が支え合いながら課題を解決し、地域づくりをしていこうということ。

市が主導でなく民が主導で進めていくものであり、皆様のご協力がなくてはなしえるものではない。

どういうまちにしたいか、ということをお話は語っていただきたい。

テーマは「子育てのしやすいまちづくり」を掲げているが、テーマに沿って発言をお願いしたい。

【市 長】

本日は貴重な時間をさいてお集まりいただきありがとうございます。

今日は、初めてのタウンミーティングということで私自身ドキドキしながら参加している。

青野市長の時代も「市長とキャッチボール」で市民の皆さんとの距離感を大切にされていたと思うが、行政と市民が向かい合って話すのではなく、もっとざっくばらんに話ができないか、ひざを突き合わせて話すことで、小松なら小松の地域の良さがでて、他に真似ができないまちづくりができないかとの思いで始めさせていただいた。「市民主役の西条」を目指し、地域の課題を地域で解決してい

くことで、住んでいる人たちが愛着を持ち、子ども達が出ていったとしてもまた帰りたいと思えるまちづくりをしていきたい。

小松は自治会やおやじの会などの活動が活発で主体的に活動されているので、色々な意見を聴けるのではないかと考えている。

限られた時間ではあるが、小松で子育てしていくことをどのように地域が関わっていくのか、いかに行政がサポートしていけるかを話し合い、小松は子育ての分野ではナンバーワンだといえるような地域にしていきたい。

今日は、一回目ということで、手探りの進行になっていくかもしれない。市幹部も最小限の参加を予定していたが、少し人数が多くなってしまったが、ご了承いただきたい。

2 意見交換 「子育てしやすいまちづくり」について

【支部長】

1月24日に皆さんと事前に意見交換させていただいた内容は資料のとおりとなっている。これを踏まえて、テーマに沿ってご意見いただけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。

【小学校PTA】

今回、小学校PTAで事前に要望を調査してきたのでここで上げさせていただきたい。
(要望書の配布)

【市長】

事前に要望を検討して、まとめていただいたので、この要望書は承るが、今回は陳情、要望の場ではなく、どのように子ども達と関わっていけば子育てしやすくなるのかを議論したい。

今、小松にある問題点や良いところを出していただいた上で、その解決策を各団体の皆さんが活動されている面から話し合い、模索していきたいと考えている。

まず、小松で子育てしやすい面はどんなところか。逆に、しにくいところはどんなところか。どうすれば良い面を活かしながら、良くない点をどう改善すれば良くなるのか、ご意見はないか。

【自治会理事】

子育てから離れてはいるが、小松の特に小学生のほとんどの子から、朝の挨拶が返ってくる。コミュニケーションは挨拶から始まるので、第一段階はできているのではないか。中学生、高校生になると段々とできなくなってくるが。

もう一つは子どもの通学路で、つまり程度の小さな荒れがあちこちあるが、それは子どもだけではなく妊婦や高齢者にとっても危ない。細かなところは地域の住民で直せないのか。市役所に言えばすぐに直してはくれるが、機材を貸してもらえれば自分たちでもできる。安全面等の問題もあるかもしれないが、時間と人件費の節約になるのでないか。講習会などを開いてもらって、自治会に一人ずつでもできる人材を育ててはどうか。

【市長】

今、そのような地域で助け合って解決する組織である、地域自治のあり方を検討している。地域の力を貸しあって、地域で問題を解決していくには、それなりの財源も必要になってくるので、予算や権限についても検討している。

一方で、小学校周辺の通学路の安全対策について舗装や外側線の引き直しの為 3 千万円の予算を議会へ提出している。

【小学校おやじ部】

活動の中で子ども達と関わることが多い。活動している親と子ども達は仲がいい。自分の子どもをいろんな大人が見てくれている安心感がある。

しかし、活動に参加してない人に関しては目が行き届かない。長くやっていると仲がいい人たちだけの活動になってしまうという危険性がある。いろいろなイベントをとおして、子ども達の成長を見

ることができ、良い地域に住んでいるなどの実感はある。

【市長】

主体的に役割を担っていただき、良い環境が小松にはあるようだ。

好きな者だけがやっているんだと言われてしまうとつらくなってくる。その輪を広げていくにはどんな方法が良いかご意見はないか。

【自治会理事】

わたしは挨拶をし合えばもう友達だと思っている。子どもより先に大人が積極的に挨拶するような風習を始めてくれたらいいと思うがどうだろう。

【中学校PTA】

そう思う。前回の話し合いで、中高年の方から「子ども達の要望を教えてほしい。それがわかれば動ける人はいる」と言われて、助けてくれる人が地域にいるんだと思った。

去年、小松中学校で未来塾をさせてもらったが、教育委員会の部長から今年も愛媛大学大学院の方が4~5人、是非、故郷のために貢献したいので早めに日を決めほしいと言っていることを聞いた。若い人も助けてくれる、シニアの人も助けてくれる、我々子育て世代は自分のことだけで精一杯になってしまいがちだけど、ガス抜きもしたいと思っているので、挨拶を交わすことをきっかけに、いろんな人と話の交換ができる空気が生まれていくと思う。

一方で、石根の子は欲がない、ガッツが足りないと言われてきた。

中学校で生き方講座をやり、テレビ愛媛のディレクター、司会、自動車整備、インテリアデザイナー、提灯の伝統工芸、エッセイストから、こんな生き方があるよといった講座をしてもらった。地元の方も、子ども達が将来へのモチベーション、ビジョンを持てるように、学校に出向いてもらって出前講座などしてくれると良い。

そのためにも交流をしながらさせていただきたい。

【市長】

小松地区は挨拶日本一のまちを目指すか？

【中学校おやじ部】

さきほど、中学生になったら 挨拶が減るといわれて寂しい思いもしたが、おやじ部では交通指導日に正門に並んで挨拶運動をしている。恥ずかしそうに挨拶しない子どもでもその子めがけて挨拶すると返してくれる。引き続きやっていきたい。

【市長】

公民館、支所も挨拶できているか。市役所も20日は挨拶の日として朝の挨拶をしている。全体で取り組める、すぐにできる課題だと思う。

【支部長】

中学校の入学式、卒業式に呼んでもらえるので、必ず、地域の人に挨拶をしようと呼びかけている。氷見へ散歩に行くが、子どもの方から挨拶をしてくれる。小松は負けているかもしれない。

【愛護班】

校長先生から小松の子ども達の良いところは、弱者にやさしい、否定しないところだと言われた。わたしも引っ越してきたときに、小松には許す文化があると感じた。

保護者も、こちらから意見を尋ねると意見を出してくれるので、発言の機会がないだけで、それぞれの子育て論はお持ちだと思う。積極的に声をかけて大きな組織にしていくことはできるのではないか。

また、子育て拠点がどのような施設になるのか、どのように市民が活用していけるのか説明してほしい。

【保健福祉部長】

公民館の隣の旧スナダヤの敷地を利用して床面積約 540 m²平屋の施設を予定し、今年度実施設計を行っている。

内容は、一時保育室、子育て支援センター、多世代交流ホール、多目的室（幼、小、中）、駐車場約 70 台、併せて市道の整備を計画している。

地元説明会も予定している。来年度 6 月議会で工事費の計上を行い、H31 年度から開館予定である。

【市 長】

なかなか進んでいなかった部分がようやく動き出した。公民館、図書館と併せて、多世代と交流できる小松地区の核となる集積地となれるのではと考えている。

【婦人会】

夏休みに通学合宿などやっているが、自分たちが子どもの時代に比べて、断然にお行儀が良く、挨拶や自分の意見もはっきり述べられると思う。どの程度を子ども達に期待するのが良いのか。

【学校教育課長】

小松中学校へ勤務していたが、小松の地域特性は粘り強く、人懐っこいと感じている。

【婦人会】

シャイな子どもをすくい上げていけているのだろうか。

【小学校おやじ部】

挨拶運動で、今年度から着ぐるみを着てやってみようかと計画している。

【消防団】

学校や地域でいじめのない雰囲気づくりとしないといけない。

健康と体力、精神的にも強い子を育てる。

お祭りの場で上級生が下級生の安全の面でも責任をもって見る。

子どもの意見も求めて、友達を大切にするにはどうすれば良いのかを子ども達にも提案していく。地域社会がどう介入するかを考えていきたい。

【市 長】

いじめが発生してから、委員会を立ち上げたりするが、それでは遅い。

また、健康であることが第一で、それが優しさに繋がったりもする。

地域社会がどのように見守っていくのかがいいか、ご意見はないか。

【自治会理事】

うちの地域はだんじりがあるので、親も子もわかるような状況。年 2 回夏と冬に 3 世代交流の会もしている。世代を超えた交流ができていると思う。

【市 長】

地域の中で 3 世代の顔と名前が認識できている。

【自治会理事】

スポーツ推進員もやっている所以学校へ何度か行く機会があり、楽しそうに交流できているが、学校以外では、大人は車に乗って移動しているし、子どもも塾や家の中で遊んでいて、顔を合わせる機会がない。

うちの地区も祭りや餅つき大会があり、子どもも青年部も老人会も一緒に楽しそうにしている。

1 年で顔を覚えられるくらいの回数、子どもが楽しく出てきてくれるイベント等、触れ合う場を作らないといけない。交流がないと親以外の大人が子どもを叱ることができなくなっている。

【市長】

市内でも愛護班などの活動がなくなってきている地域もある。子ども達が出やすい環境を作っていくのが地域や団体の課題になってきているのかもしれない。

【自治会理事】

私たちが小さいときは学校から帰るとすぐに外に出て遊んでいたが、環境が変わってきたのか、今は家から出ないので交流する機会がない。親自体も交流の場がないのではないかな。

【小学校おやじ部】

する人はしているが、していない人も結構いる。

【自治会理事】

新しくできるセンターもそうだが、地域地域に交流できる場があればいい。

うちの地区ではお寺にあり、その広場を開放しているが、よその地域からもよく遊びに来ている。防災倉庫の窓ガラスもよく割られるが・・・。

そういった親も子どもも交流できる場をつくって、そこで色々話し合っって問題を解決していけるのではないかな。それに極力参加してもらえたら良い。

【小学校おやじ部】

今の子どもは昔と環境が随分違う。遊ぶ場がない、ゲームがある、田んぼで走り回っていたら怒られる。遊ばせてあげる環境づくりを地域で作ってあげる必要があるのかもしれない。

【自治会理事】

休耕地を利用させてもらえたらいいのと思っていた。

【市長】

休耕地のある地域はどうか。

【自治会理事】

伝統行事を継承してきた結果、ちいさな地域なのでほとんどの子どもの顔はわかる。

保育園から中学生までいろいろな活動があり、子ども達も参加してくれている。どれだけ目配りができるか。いいところですよ、うちの地区は。

【市長】

地域が目配り気配りできる雰囲気、交流の場を作るそのツールが伝統行事だったり、お祭りだったりする。西条は恵まれたことに、各地域にそんなお祭りがある。その中で、仲間意識やチームがしやすい。

【消防団】

共働きで忙しいお父さんお母さんが多いかと思うが、多世代で交われる機会があれば良い。

【市長】

世代間を超えた交流環境を作る単位として「自治会」は丁度いいと思うが、自治会長だけが重荷を背負うのではなくて、いろんな人に参画してもらって、コミュニケーションが取れば持続可能な地域形成ができる。

【市民協働推進課長】

(自治組織の説明)

地域にある課題を、地域をよく知っている地域の方達で解決していくのが自治組織。

課題はすぐに答えが出るものではないが、それを、ゆっくり話し合いを繰り返しながら解決していくという仕組みづくりを進めている。

地域の取組みを行政が支えていく仕組みを広めていきたいと進めているのでご協力いただきたい。

【市長】

限られた役の方々に多くのことを重複してお願いしている面もある。地域の課題について、ハード面だけでなくソフト面からどう解決していくのか、核となれるよう公民館の充実を考えている。

<要望書について>

「夜間救急搬送可能な小児科医、産科医がない」

【保健福祉部長】

急患センターでは、内科の診療が中心だが小児科も救急的に診てもらえるようにしている。

【小学校 PTA】

診てはくれるが、専門ではないので非常に不安に思っている。そこを何とかしてほしい。

【保健福祉部長】

そこが大変重要な課題となっている。本来なら産科、小児科医があればいいのだが、医師不足のため、大変難しい問題となっている。

【市長】

行政というよりも医師会が中心にやってもらっていかないといけないのだが、市からも引き続きお願いしていかなくてはいけない。

【学校教育課長】

通学路の安全対策として、通学路安全推進連絡協議会（国、市、県、警察、安全協会、PTA 連合会、校長会等）で年度初めに各小学校から危険箇所の吸い上げを行い、夏季休業中に確認し、40～50 の危険箇所について優先度をつけて対応している。

【市長】

スピード感をもって子ども達の安全に取り組んでいきたいと思っている。

「通学路の倒壊の恐れのある空き家及び道路標示について」

【建設部長】

H27 に西条市空き家等対策計画を策定し、実態調査を行った。空き家率 5%のうち 1 割が老朽化の空き家である。

要望の箇所が認定されている箇所かはわからないが、危険空き家に認定されている場合は、持ち主に手紙等で取り壊しや修繕の依頼をしている。

また、取り壊し費用の 4/5 で上限 80 万円の補助もしている。

通学路の空き家が危険性がある場合は総合支所の建設管理課か本庁建築審査課へご相談いただきたい。補助金制度には、条件があり、危険空き家に認定されるためには手続きが必要で時間はかかる場合があるが、まずは相談いただければ、現地の調査を行い、持ち主に指導する。また、面する道路に看板等の設置も検討もできる。

「道路の白線の転倒防止」

【建設部長】

道路の白線の滑り止めは、承知していないが、持ち帰って素材があるのか調査したい。

【市長】

答えを見つけるところまではいかないが、小松にはまとまる素地があると認識できた。

地域がいい意味で競い合って、小松の良さをどんどん発揮できるようなまちづくりを進めるうえで、まずは挨拶が一つのキーワードだったかなと思う。

また、交流の場が作りにくいという中で、地域からも提案してもらって交流の場を創出していくよ

うな、今やっている活動をより多くの人に知ってもらって、参画してもらえらる仕組みを考えていく必要があるのではないかな。

地域コミュニティの在り方について、少し変化を加えていきたい。西条市は高齢者に厚遇してきた。これからは、子ども世代に充てていきたいと考えている。

行政だけではできないので皆さんの力を借りながら進めていきたい。行政も受け身ではなく、地域に入っていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

<各部署より>

【経営戦略部長】

子育てしやすいまちだと市民が胸を張って言えるにはどうすれば良いのか、戦略的に考えている。

子ども達が帰ってこれる地域にするには、地元で愛着を持ってもらわなくてはならない、それはどうすれば良いのか、まだまだ知られていない西条市をどう発信していけばいいのか戦略的に考えていきたい。

【危機管理監】

地域の交流は防災から。自治会＝自主防災組織である。

自主防災組織の中で訓練をしながら交流を進めていってほしい。

【社会教育課長】

通学合宿、未来塾のお話を出していただいた。西条市の中でも模範的な取り組みが小松で行われていることに非常に感謝している。地域の皆様に助けていただきながら、子ども達を育ていく非常に大切な事業だと思っている。

温芳図書館について、2階歴史資料室の1室が空調等の故障等により活用できていないが、エレベータの改修と併せて、新年度の予算に改修の提案をしている。小松の貴重な歴史資料を長く保存できるように思う。

また、近藤篤山先生の教えを大切にしているのが小松の特徴だと思っている。新1年生に資料の配布を引き続きしていきたい。

【小松総合支所長】

小松総合支所でも職員一同、市民の皆様と一緒に活動していけるよう努めたい。まずは挨拶から徹底していきたい。

【市長】

今日は貴重な時間をいただいたが、これからの地域づくりについて行政もしっかりと関わっていききたい。この会自体も手探りで始めさせていただいているので、これから修正もしながら、皆さんと距離をしっかり近づけていきたい。

どうすればできるようになるのか、行政の方も変化していきながら皆さんとやっていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

3 閉会挨拶

【支部長】

今日はどうも本当にありがとうございました。大変貴重なご意見をいただき、小松地区の子育てしやすいまちづくりの課題も見えてきたのではないかな。

各団体に持ち帰って、話し合っただいて、より一層よいまちづくりをしていけたらと思っている。

子育てしやすいまちは高齢者にも障がい者にも優しいまちだと思う。これを機会に話し合いを繰り返して、ハード面だけではなくソフト面でもどうするかを皆さんと考えていきたいので、今後ともよろしくお願ひしたい。

長時間ありがとうございました。

<タウンミーティングの様子>

